

Syllabus Id	062401
Subject Id	062004610
更新履歴	20060126
授業科目名	ドイツ語 A (German IA)
担当教員名	朝倉 巧
対象クラス	制御情報工学科 4 年、物質工学科 4 年
単位数	2 学修単位
必修 / 選択	必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	演習
実施場所	対象クラスの HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

ヨーロッパ中央に位置するドイツは EU の経済の中心地であり、多くの企業はヨーロッパにおける企業活動の拠点をドイツに置いている。ドイツ語はドイツ・スイス・オーストリアの主要言語であり、それ以外のヨーロッパ諸国で中等教育において第 2 外国語として広く学習されている国際語である。またドイツには長く大きなヨーロッパ文明の伝統が今も日々の生活の中に生き続けており、人々は日本やアメリカとは異なった環境・慣習・生活様式・考え方で生活している。ドイツ語の学習を通じてドイツ・ヨーロッパ文化を学ぶ。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

ドイツの作家の本、ドイツ・オーストリア・スイスに関する本を読む。テレビでドイツ・ヨーロッパに関する放送を見る。NHK テレビ・ラジオのドイツ語講座で学習する。

	重み	目標	説明
学習・教育目標		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D:コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力			

学習・教育目標の達成度検査	<ol style="list-style-type: none"> 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。 プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。 目標達成度試験の実施要領は別に定める。
---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業目標

ドイツ語の基礎を学ぶ。1 年後にドイツ語技能検定試験 4 級を取得できる程度の語学力をつけることを目標とする。ドイツの日常生活を学び、ドイツ文化・ヨーロッパ文化を知り、それとの比較において日本文化・日本人の考え方を客観的に見る見方を養う。

授業計画 (プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ		参観
第 1 回	オリエンテーション	授業目標・授業法・評価法の説明。ドイツに関する基礎的な知識を問い、ドイツとドイツ語学習に興味を呼び起こすためのドイツクイズ	
第 2 回	アルファベット・発音・正書法概要	ドイツの人名・地名、数字 1 - 100 So lebt man in Deutschland 1(以下 S1,S2...と略) Geschäfte(商店): パン屋、菓子屋、薬局	
第 3~5 回	Hallo München Lektion 1(以下 H2, H3...と略): Guten Tag in München	疑問詞、動詞の現在人称変化、定形の位置、sein の現在人称変化、疑問文中の定動詞の位置、接続詞 * 学問名、国名と言語名、スポーツと楽器名 S2 Markt (町の広場) S3 Kiosk (キオスク)	
第 6~7 回	H2 Klaudia geht in die Stadt	名詞の性と冠詞、否定冠詞 kein、haben の現在人称変化、所有冠詞 * 1 格と 4 格の用法、否定の仕方、いろいろな挨拶 S4 Information (観光案内所) S5 Geschäftszeiten (開店営業時間)	
第 8 回	前期中間試験		×
第 9 回	ドイツ歌曲	ドイツ歌曲を聴く・歌う S6 Post(1), S7 Post(2) ドイツの郵便	
第 10~	H3 Eine Wohn-	不規則動詞の現在人称変化(1)(2)、du に対する「願望・依頼」の表現、	

12 回	gemeinschaft	名詞の複数形 * Michael のアパート S8 Straßenbahn(1)路面電車、 S9 Ampel 交通信号、 S10 Fahrrad 自転車、 S11 Verkehrszeichen 交通標識	
第 13 ~ 14 回	H4 Eine Reise nach Salzburg	分離動詞、不規則動詞の現在人称変化(3)、dieser と welcher * 時刻の言い方、ドイツの鉄道路線 S12 Telefonzelle 電話ボックス、 S13 Straßenbahn(2) 路面電車(2)	
第 15 回	前期末試験		×
第 16 ~ 18 回	H5 Ein Tag von Michael	3 格と 4 格の基本的な用法、冠詞の 3 格、人称代名詞の格変化、3 格支配の前置詞、4 格支配の前置詞、3・4 格支配の前置詞、前置詞と定冠詞の融合形 * 名詞と冠詞の格のまとめ、2 格 S14 Schnellimbiss 立ち食いスタンド、S15 Besuch 訪問、S16 Kaltes Essen ドイツの夕食	
第 19 ~ 22 回	H6 Im Olympiapark	müssen, wollen, dürfen, können, sollen, möchte(n) * 話法の助動詞の単独での用法、未来・推量の助動詞 werden、いろいろなビールコースター S17 An der Hotelrezeption ホテルのフロントで、 S18 Kirmes 縁日、S19 Schrebergarten 家庭菜園、S20 Hochzeit 結婚式、S21 Frühstück in einem Hotel ホテルの朝食	
第 23 回	後期中間試験		×
第 24 ~ 26 回	H7 Einkäufe	形容詞の格変化(1)(2)、形容詞の比較変化、形容詞の名詞化、Student 型の男性名詞、München の交通路線 S22 Park 公園、 S23 Volkshochschule 市民大学、 S24 Kirche 教会	
第 27 ~ 28 回	H8 Am Wochenende	Sein で完了形を造る動詞、規則動詞の過去分詞、不規則動詞の過去分詞、分離動詞の過去分詞、過去分詞に ge-がつかない動詞 * 特に重要な不規則動詞の 3 基本型 S25 Denkmalschutz 記念物保護、 S26,S27 Autobahn(1)(2)アウトバーン(高速道路)	
第 29 回	ドイツのクリスマス、歌	S28 Tankstelle ガソリンスタンド	
第 30 回	後期末試験		×
課題とオフィスアワー 状況に応じてノート提出、宿題提出を課す。 オフィスアワー：月曜日昼休み			
評価方法と基準 評価方法 中間試験と期末試験の合計点に、時々行う小テスト(単語書き取りなど)の点数を加えて評価する。成績不振者に対しては特別課題を課し、合わせて評価する。			
評価基準 前期中間テスト 40%、小テスト 10%、前期末テスト 40%、小テスト 10%。後期も前期に同じ。 特別課題レポート最大 10%、授業態度・ノート提出・宿題提出：最大 10%			
教科書等	ハロー・ミュンヘン、関口一郎、白水社 So lebt man in Deutschland (NHK テレビ放送に基づく自作教材)		
先修科目	英語		
関連サイトの URL	東京ドイツ文化センター http://www.goethe.de/tokyo		
授業アンケートへの対応	(今年度新規非常勤)		
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも 1 週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		